



平庭高原 つつじまつり



葛巻保育園児のステージ発表



人気企画のききワイン



繁盛するジンギスカンコーナー



雄大な自然を駆け巡る塩の道トレイル

平庭高原つつじまつり（同実行委員会主催）は5月23日と24日の2日間、森のこだま館などを会場に開催され、高原に広がる鮮やかなツツジの群生を楽しみました。

会場内では、ジンギスカンコーナーやききワインなどの人気企画のほか、葛巻保育園児によるかわいらしいダンスの発表などが行われ、大人から子どもまで楽しめる内容が盛りだくさんとなりました。

24日には、森のこだま館周辺でくずまき塩の道トレイル2026を同時開催。個人の部と団体リレーの部の2部門で、約60人の参加ランナーが1周約4kmのコースを駆け抜け、雄大な自然風景を楽しみながら爽やかな汗を流しました。



参加者は植樹活動を通じて森を守り育てることの大切さを再確認

第27回葛巻町 植樹祭

町産業振興協議会（会長・鈴木重男町長）主催の第27回町植樹祭が6月6日、くずまき高原牧場で開催されました。

この日は町内小学生をはじめ、町内外の企業や林業関係者など約200人が参加し、レンゲツツジの苗木200本を植樹する森林保全活動に取り組みました。

開会式で鈴木町長は「植樹祭での活動を、日頃の生活に欠かすことのできない森の果たす役割や魅力について考えるきっかけにしてほしい。今後も森のエネルギーに感謝する活動を続けていきたい」とあいさつ。森を守り育てる大切さについて共有しました。

開会式終了後、参加者は牧場内にある植樹場所に移動し、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、県企業局、緑の募金からの助成を受けて購入した苗木を植樹。参加者たちはスコップやくわを使って一生懸命に土を掘り、協力し合いながら植えた苗木に土や葉をしっかりとかぶせました。



1 植樹活動終了後、記念標柱を建立した来賓の皆さん 2 鈴木町長から代表児童一人一人に記念品を贈呈 3 くわを使って一生懸命に土を掘る児童 4 5 仲良くツツジを植樹する児童たち

第28回くずまき高原牧場まつりが6月13日と14日の2日間、プラト駐車場をメイン会場に開催され、多くの来場者でにぎわいました。

イベントは、立ち並ぶ屋台をはじめ、ステージショーや高原牛カルビの焼肉食べ放題など、人気企画がめじろ押し。特に牛の乳搾りや羊の毛刈りなど、牧場ならではの多彩な体験は、家族連れでにぎわい、長蛇の列ができていました。

14日には、くずまき高原牧場が歌の舞台となった、歌手・大沢桃子さんのヒット曲「風の丘」の全国歌謡選手権大会が盛大に開催されました。5回目を迎えた今大会には、町内外から10人が出場し、自慢の歌声を披露しました。



干し草の中から景品を探す大人気企画「ちびっ子宝探し」



羊の毛刈り体験は貴重な経験に



「風の丘」の歌声が会場に響く